

鳥取県経済同友会東部地区 1 2 月例会報告

- 1 日 時 令和 7 年 1 2 月 1 7 日（水） 1 8 : 3 0 ~
- 2 場 所 ホテルニューオータニ鳥取「鳳凰の間」
- 3 講 演 「とっとりインターンシップの取り組みについて」
とっとりインターンシップ推進事業
コーディネーター 大西 薫 氏
- 4 出席者 会員 2 1 名
- 5 講演概要

1 2 月例会は移住・定住委員会が担当で、若者の定住に努めるインターンシップ事業について、とっとりインターンシップ推進事業コーディネーターの大西 薫氏に「とっとりインターンシップの取り組みについて」と題して講演をしていただきました。

講演のポイントは次のとおりです。

平成 2 7 年に 5 月に将来の産業人材候補となる学生に対し、県内企業の魅力の理解促進及び地元定着・U I J ターンの促進を図ることを目的とし、産

官学が連携する「鳥取インターンシップ推進協議会」が設立された。インターンシップ事業の運営は、鳥取県中小企業団体中央会が鳥取県から委託を受け、事務局として事業を行っている。（大西氏は中央会の職員）

とっとりインターンシップの特徴としては、①専属のコーディネーターが、企業と学生とのニーズに柔軟に、細やかに対応している。②参加学生に対し、公共交通機関を利用した交通費や宿泊費について、上限はあるものの全額助成する。③新しく企業登録する場合や、実習プログラムの登録等に係る費用は一切かからない。④参加学生の為に傷害保険と賠償責任保険に加入している。⑤実習受入企業に対し、実習の参加状況や傾向・学生動向等を報告する振り返り会を年 2 回実施している。⑥実習日誌では、参加学生が実習で学んだこと等について受入先が確認することができる。参加学生は、受入先から実習中の評価を実習評価表としてフィードバックされ、自身の良いところや改善点等を今後の参考とすることができる。

登録企業数は、3 9 6 社で、業種は製造業が多い。令和 7 年度上期（4 月～9 月）は、8 5 の企業・団体に 2 2 6 名（延べ 3 0 1 名）の学生が実習に参加した。前年の 1 8 8 名と比較して約 6 0 % 増加した。参加学生の内訳は、鳥取大学、鳥取環境大学などの県内の学生が延べ 1 5 9 名、県外の学生は、近畿地区 7 0 名を筆頭に延べ 1 4 2 名となっている。

企業にとってインターンシップを実施することで、新規採用における母集団形成や優秀



【講演する大西 薫氏】

な学生を見つけアプローチするチャンスとなるが、業界・企業研究を兼ねてインターンシップに参加する学生が一定数いることを理解していただきたい。

講演終了後、参加者から高校生のインターンシップはないのか、インターンシップに参加した学生の何%が県内に就職したか等の質問が出され、高校生のインターンシップはない、就職につながる例は多くない旨回答があり、質疑応答を経て12月例会は閉会となった。